

3 千葉県内のパラリンピック競技会場と開催競技

千葉県内では、幕張メッセ(千葉市)でゴールボール、シッティングバレーボール、テコンドー、車いすフェンシングの4競技が行われた。

県内会場の競技日程

●幕張メッセ会場

ゴールボール：8月25日(水)～9月 3日(金) Cホール(イベントホール)

シッティングバレーボール：8月27日(金)～9月 5日(日) Aホール(国際展示場1～8ホール)

テコンドー：9月 2日(木)～9月 4日(土) Bホール(国際展示場9～11ホール)

車いすフェンシング：8月25日(水)～8月29日(日) Bホール(国際展示場9～11ホール)



県内開催競技の紹介

ゴールボール

1チーム3人の選手がアイシェード(目隠し)を着用して戦う。攻撃はコート内で鈴入りのボールを転がしたり、バウンドさせたりして相手ゴールにボールを投球する。守備は鈴の音や相手の足音を聞き分け、体全体で防御する。



写真:森田直樹/アフロスポーツ

テコンドー

キョルギ(組手、身体障害者選手)とプムセ(型、知的障害者選手)の2種目があり、東京2020パラリンピックではキョルギが採用された。コートや防具はオリンピックのテコンドーと同じで、胴部への攻撃のみが有効となり、頭部への攻撃は禁止されている。



写真:YUTAKA/アフロスポーツ

シッティングバレーボール

床にお尻の一部をつけ、座った状態でプレーする6人制のバレーボール。ボールの大きさや基本的なルールはオリンピックのバレーボールと同じだが、コートはひと回り狭く、ネットも低く設定されている。



写真:長田洋平/アフロスポーツ

車いすフェンシング

ピストと呼ばれる台に車いすを固定して行う。ユニフォームや剣、マスクなどの用具はオリンピックのフェンシングと同じで、オリンピックと同様に「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3種目がある。3種目とも障害の種類や程度によって2つのクラスに分かれる。



写真:長瀬友哉/フォートキシモト